



X-FIELD

境界点観測

X-FIELDとCIMPHONYを連携して、
TREND-ONE、BLUETREND XAの
データを取り込み、現場作業をおこないます。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



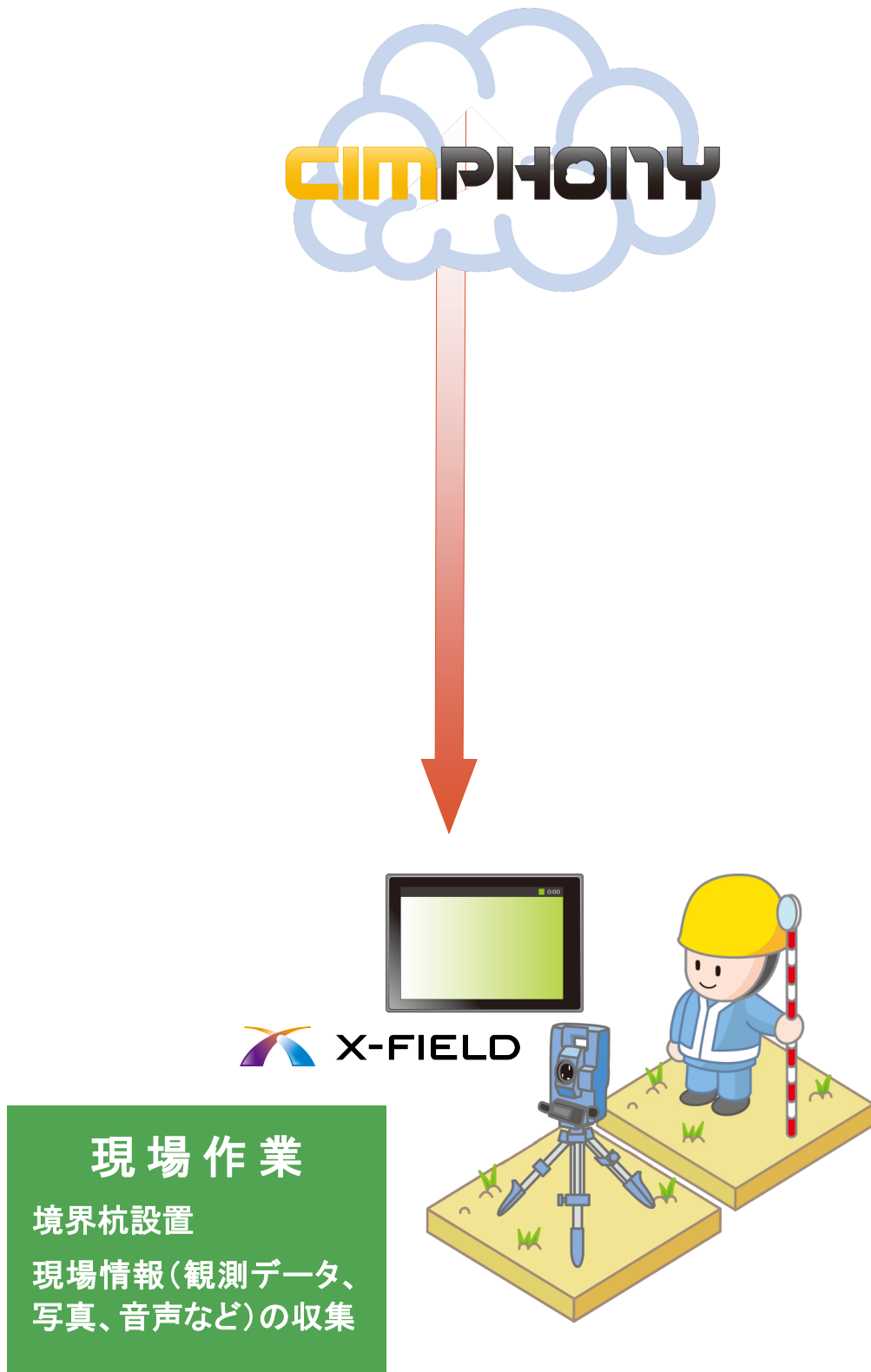
目次

境界点観測

1. 現場作業	1
1-1 X-FIELD と CIMPHONY を連携する	2
1-2 境界杭を設置する	4
1-3 境界杭を観測する	6
1-4 写真を撮影する	8
1-5 音声を録音する	9
1-6 メモ書きを入力する	10
1-7 他の境界杭設置・観測する	11
1-8 データを保存する	12
1-9 X-FIELD と CIMPHONY のデータを同期する	13

1 現場作業

X-FIELDとCIMPHONYを連携して、TREND-ONE、BLUETREND XAのデータを取り込み、現場作業を行います。



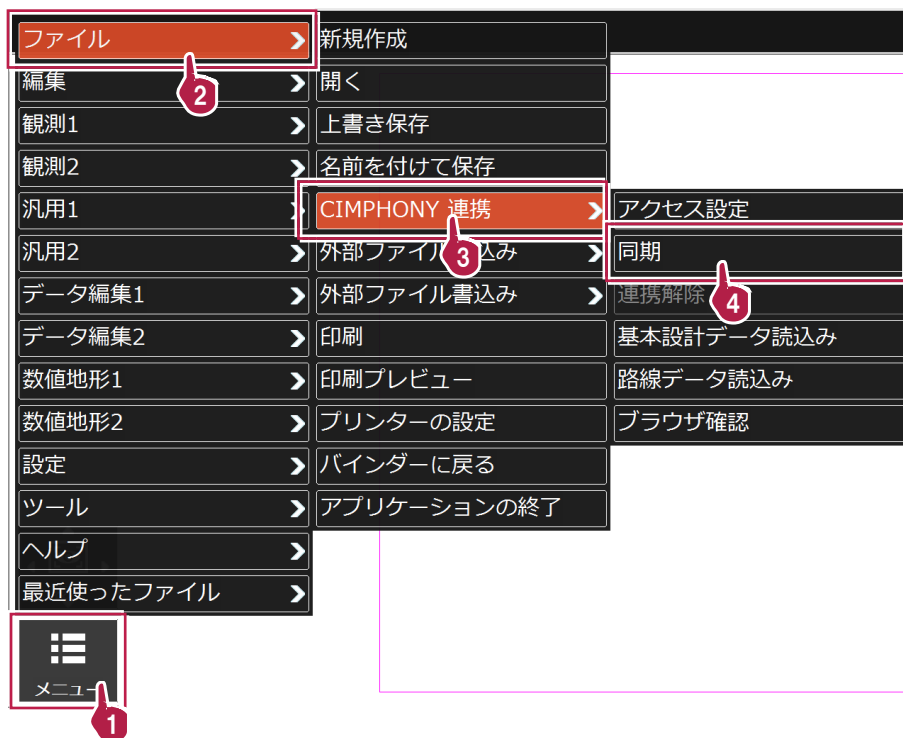
1-1 X-FIELD と CIMPHONY を連携する

X-FIELD と CIMPHONY を連携します。

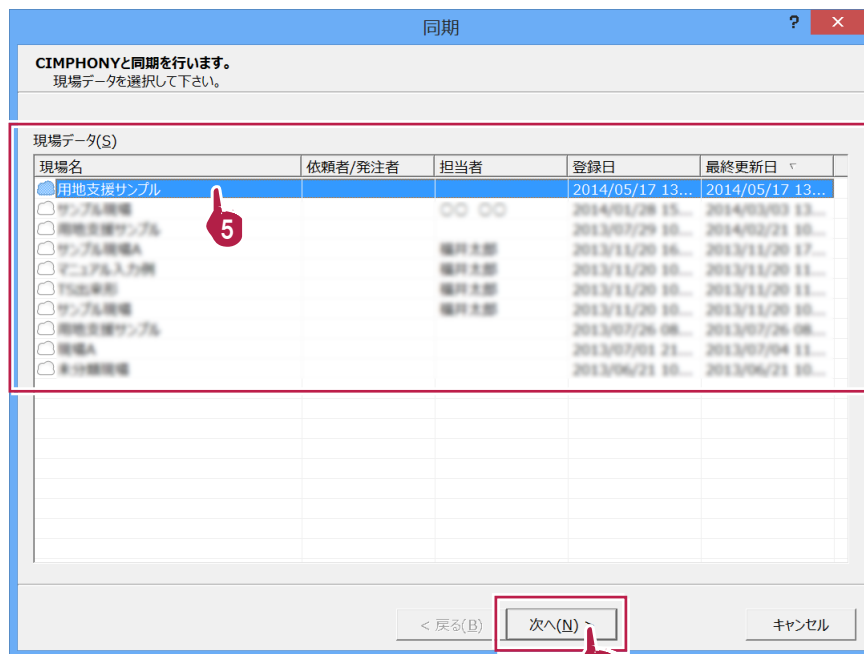


Check

CIMPHONYを使用するときは、[メニュー]－[ファイル]－[CIMPHONY連携]－[アクセス設定]を行ってください。アクセス設定の詳細は、別マニュアル「CIMPHONYでのデータ連携」を参照してください。



- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [ファイル]をタップします。
- 3 [CIMPHONY連携]をタップします。
- 4 [同期]をタップします。



- 5 同期する現場データをタップします。
- 6 [次へ]をタップします。

同期

CIMPHONYと同期を行います。
作業データを選択して下さい。

作業データ(E)	作業データ名	登録日	最終更新日	最終更新者
<input checked="" type="checkbox"/>	CAD1	2014/05/17 13...	2014/05/17 13...	社員A

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

7 同期する作業データをタップします。

8 [次へ]をタップします。

同期

CIMPHONYと同期を行います。
確認を行います。

下記のデータの同期を行います。

現場データの情報

現場名: 用地支援サンプル
依頼者/発注者名:
担当者:

作業データの情報

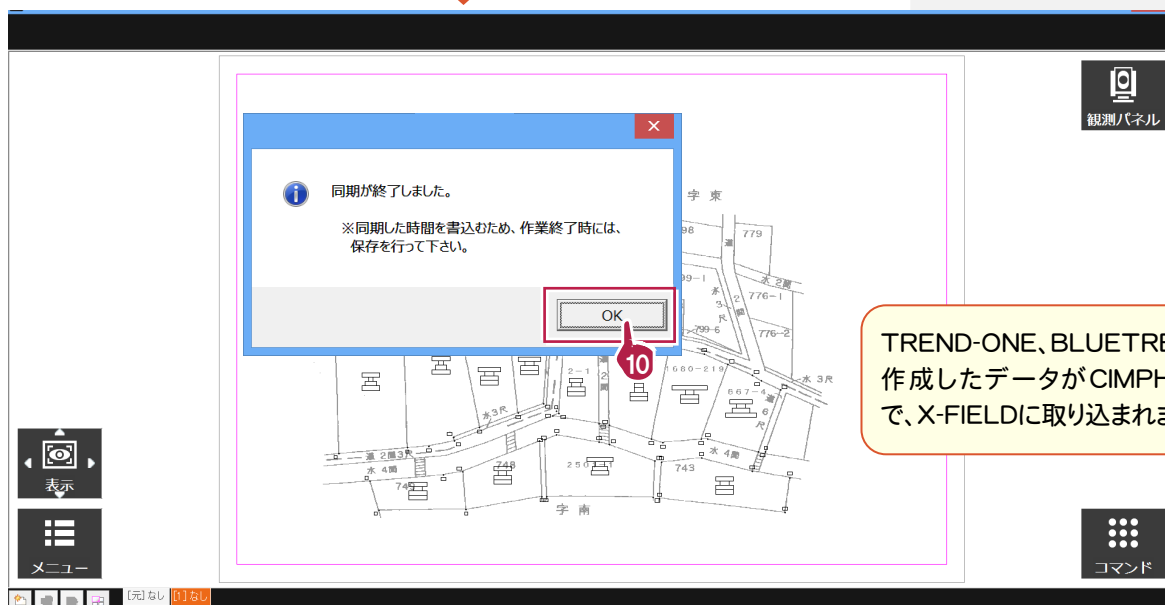
作業データ名: CAD1
最終更新者: 社員A
最終更新日: 2014/05/17 13:19

[実行]後、UNDOバッファはクリアされます。

< 戻る(B) **実行(F)** キャンセル

9 同期する現場データの情報、作業データの情報を確認して、[実行]をタップします。

10 [OK]をタップします。



TREND-ONE、BLUETREND XA で作成したデータがCIMPHONY連携で、X-FIELDに取り込まれます。

1-2 境界杭を設置する

境界杭を設置します。



1 [観測パネル]をタップします。

2 [現況]をタップします。

3 [境界点]をタップします。

4 [用地支援]をフリックして、
[用地支援]を選択します。

5 [境界杭設置]をタップします。

自動設定

メーカー

動作設定

Bluetooth デバイス

PIN コード

設定変更

Bluetooth 設定

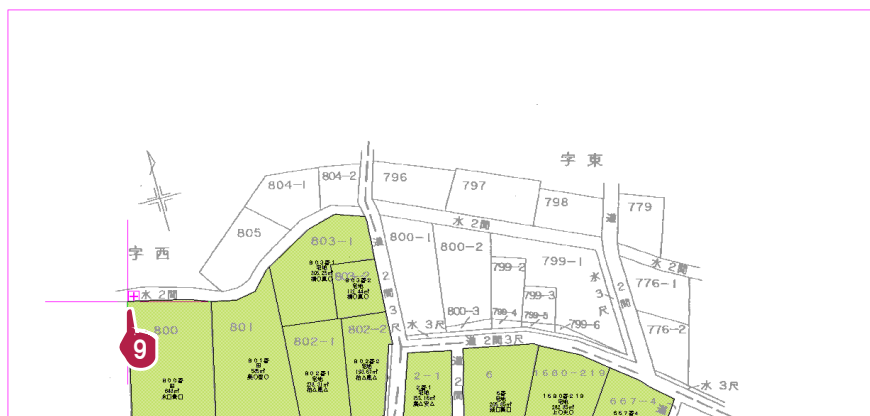
再検索

通信確認を実行

OK

キャンセル

- 6 X-FIELDで一度もTS(トータルステーション)と接続していない場合は、Bluetooth接続でTSの検索がおこなわれます。自動接続された内容が正しければ、[OK]をタップします。後で接続する場合は、[キャンセル]で閉じます。



配置

境界杭

独立杭

杭名

最終+1

K

1

観測

リンク

編集

観測杭

杭未選択

器械点情報

器械点設置

- 7 [境界杭]をタップします。
- 8 杭名を入力します。
- 9 境界杭の設置位置をタップします。



配置

境界杭

独立杭

杭名

最終+1

K

2

観測

リンク

編集

観測杭

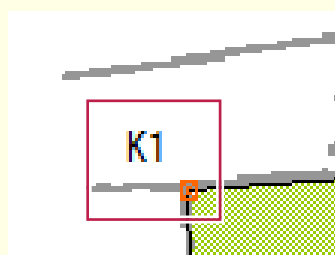
K1

器械点情報

器械点設置

観測

杭が設置されます。



1-3 境界杭を観測する

設置した境界杭を観測します。

X-FieldにTSを接続して観測を行うと観測値は自動で取り込まれます。

本書では、TSとの接続条件を「デモ用」にして、観測値を手入力する方法で解説します。

1 [器械点設置]をタップします。

2 器械点をタップします。

3 後視点をタップします。

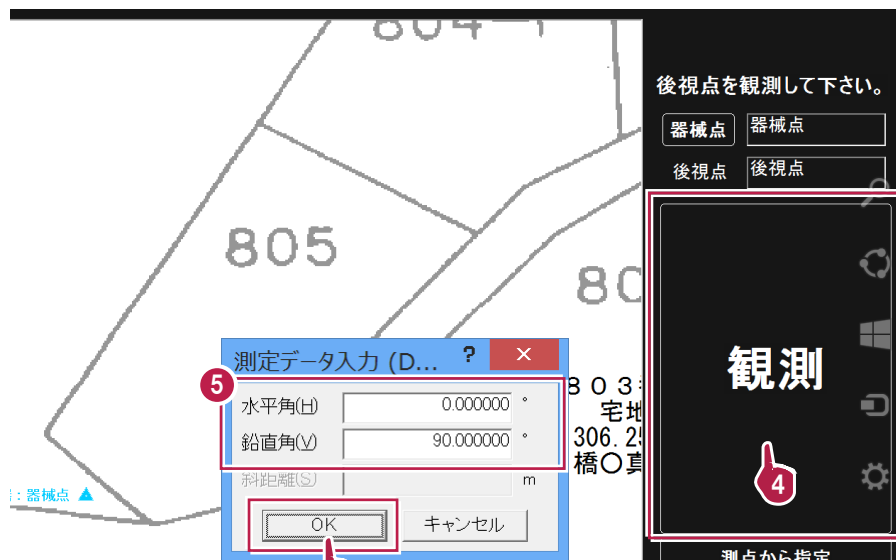
器械点を CAD 上で指定して下さい。

測点から指定
他の観測から取得

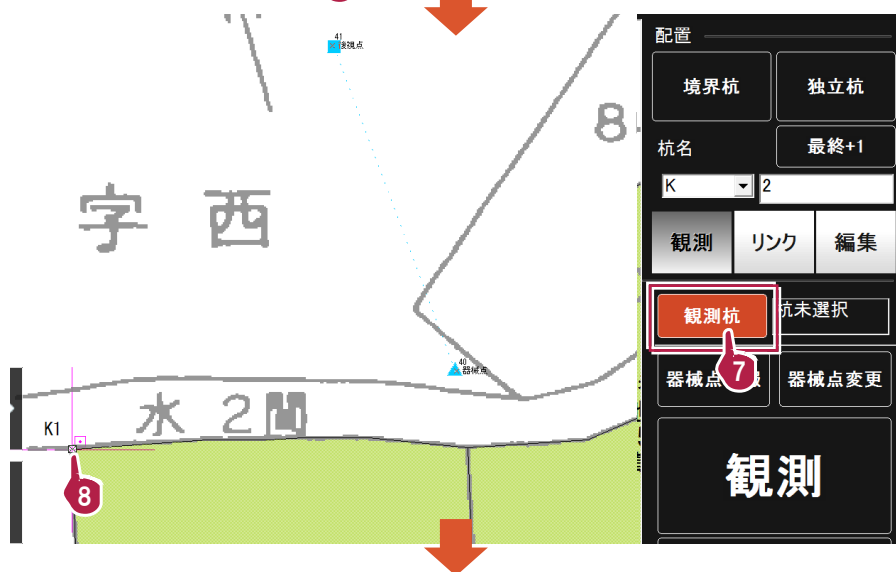
器械点を CAD 上で指定して下さい。
↓
後視点を CAD 上で指定して下さい。

測点から指定
他の観測から取得

器：器械点 ▲



- 4 [観測]をタップします。
- 5 後視点の水平角、鉛直角を入力します。
- 6 [OK]をタップします。

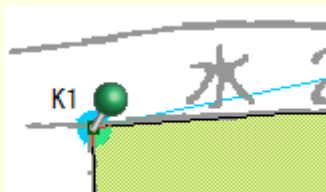


- 7 [観測杭]をタップします。
- 8 観測する境界杭をタップします。



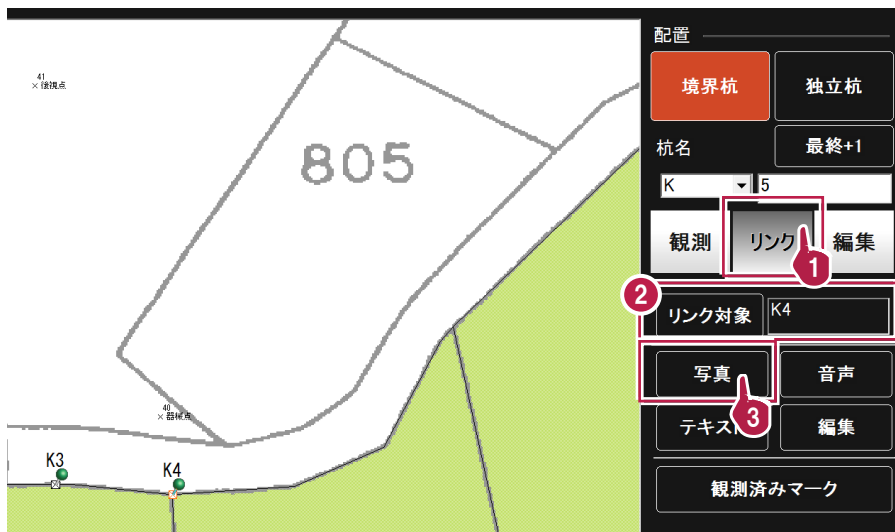
- 9 [観測]をタップします。
- 10 水平角、鉛直角、斜距離を入力します。
- 11 [OK]をタップします。

観測済みの杭には緑色のピンが表示されます。

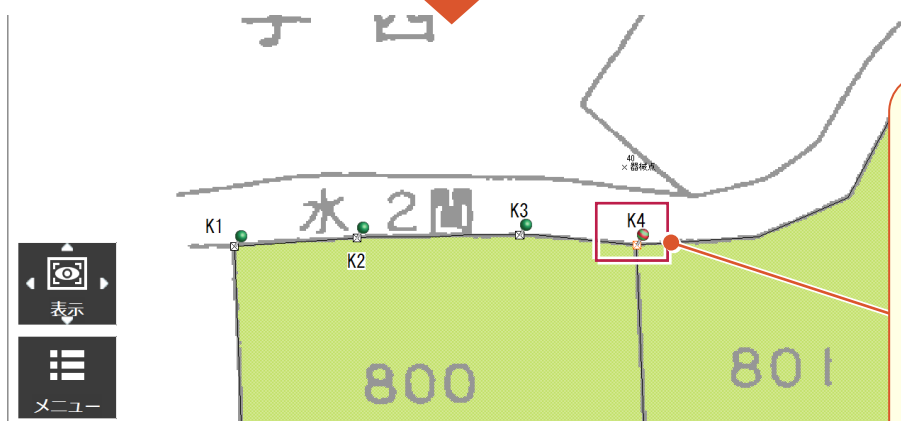


1-4 写真を撮影する

写真を撮影します。(コンピュータにカメラ機能がある場合に有効です。)
本書では、設置・観測済みの杭「K4」の写真を撮影する操作を解説します。



4 カメラで写真を撮影して、登録します。



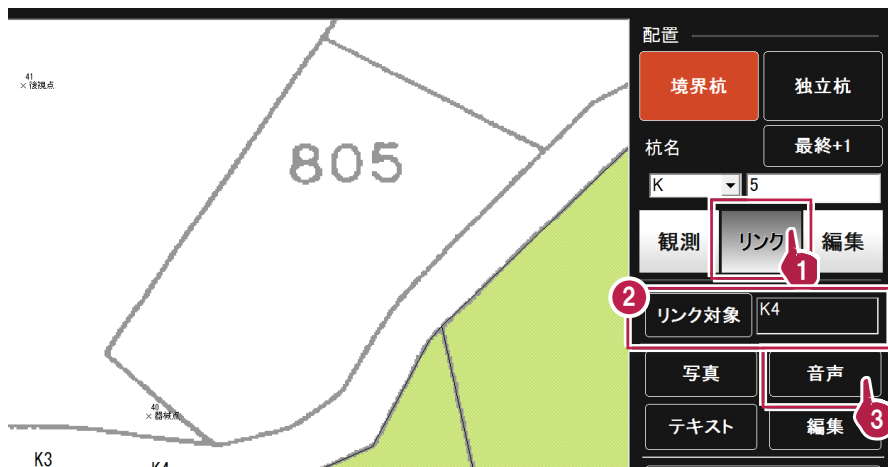
- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [写真]をタップします。
- 4 写真を撮影して、登録します。
- 5 写真を追加するエリアをタップします。
- 6 [選択]をタップします。

リンク情報が追加された杭の
ピンは赤色で表示されます。
観測済みの杭のピンは緑と赤で
表示されます。



1-5 音声を録音する

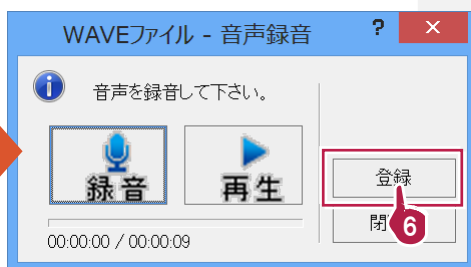
音声を録音します。(コンピュータに録音機能がある場合に有効です。)
本書では、設置・観測済みの杭「K4」に音声を録音する操作を解説します。



- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [音声]をタップします。



- 4 [録音]をタップします。



- 5 [停止]をタップします。
- 6 [登録]をタップします。

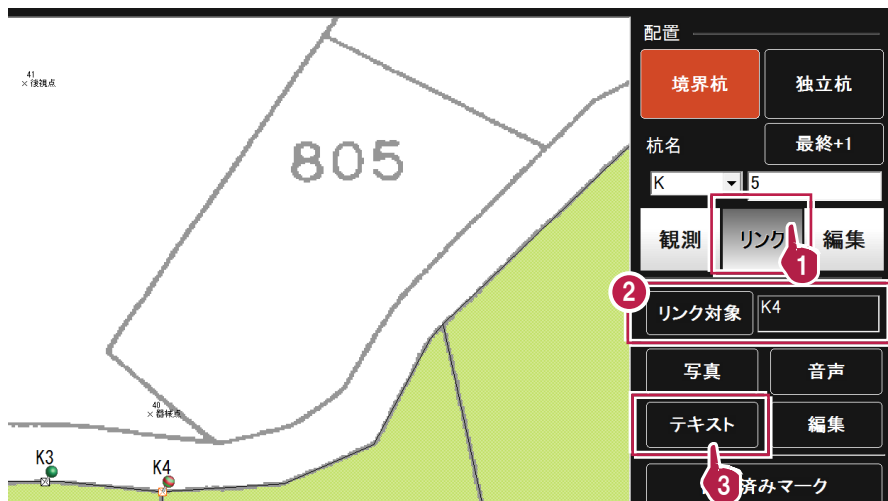


- 7 音声を追加するエリアをタップします。
- 8 [選択]をタップします。

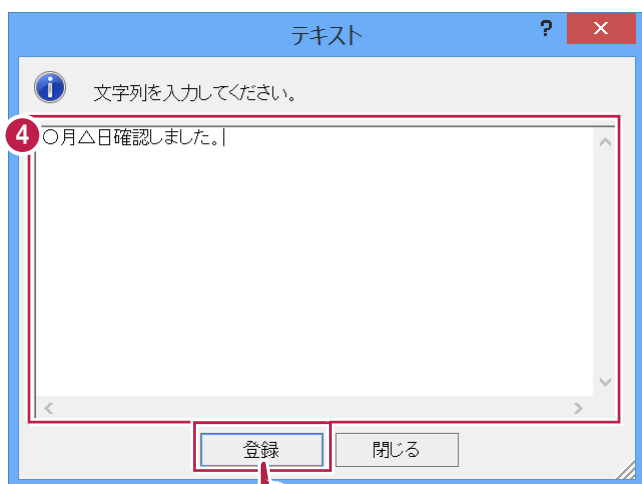
1-6 メモ書きを入力する

メモ書きを入力します。

本書では、設置・観測済みの杭「K4」にメモ書きを入力する操作を解説します。



- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [テキスト]をタップします。



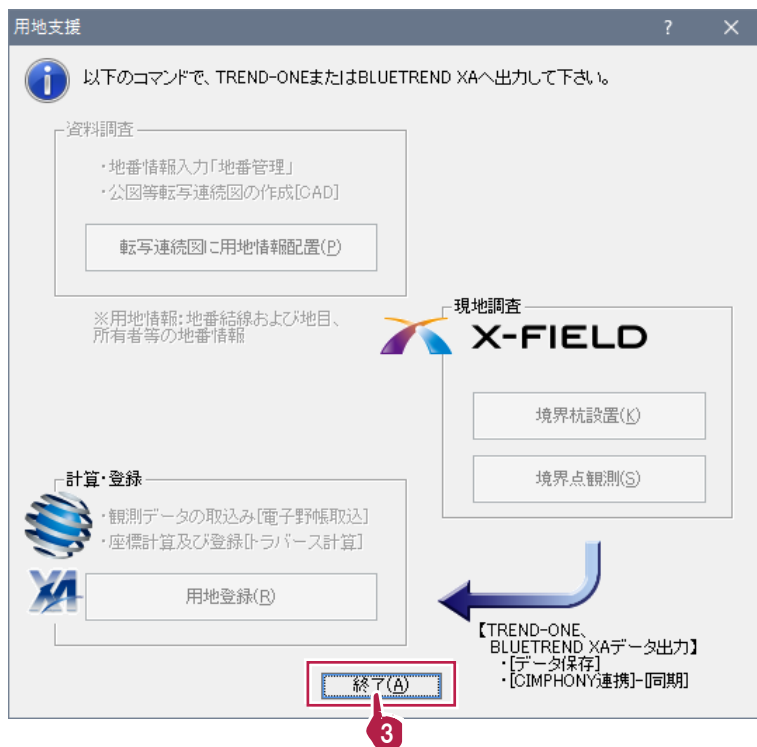
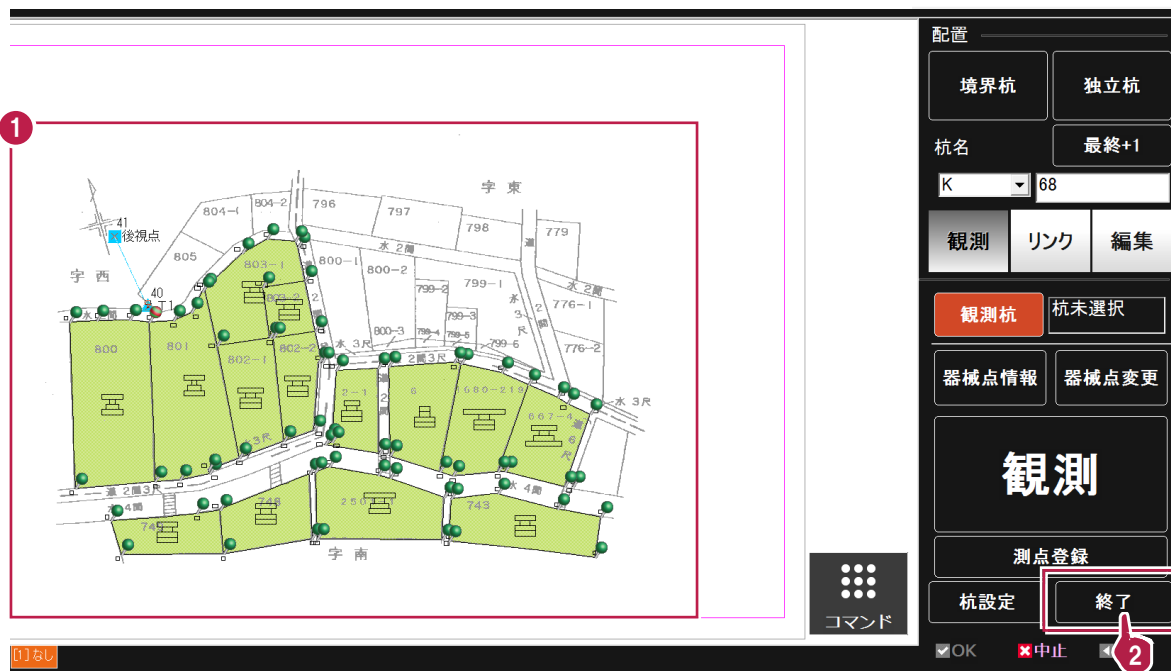
- 4 メモ書きを入力します。
- 5 [登録]をタップします。



- 6 メモ書きを登録するエリアをタップします。
- 7 [選択]をタップします。

1-7 他の境界杭設置・観測する

同様に、他の境界杭を設置して、観測します。



1 同様に、他の境界杭を設置して、観測します。

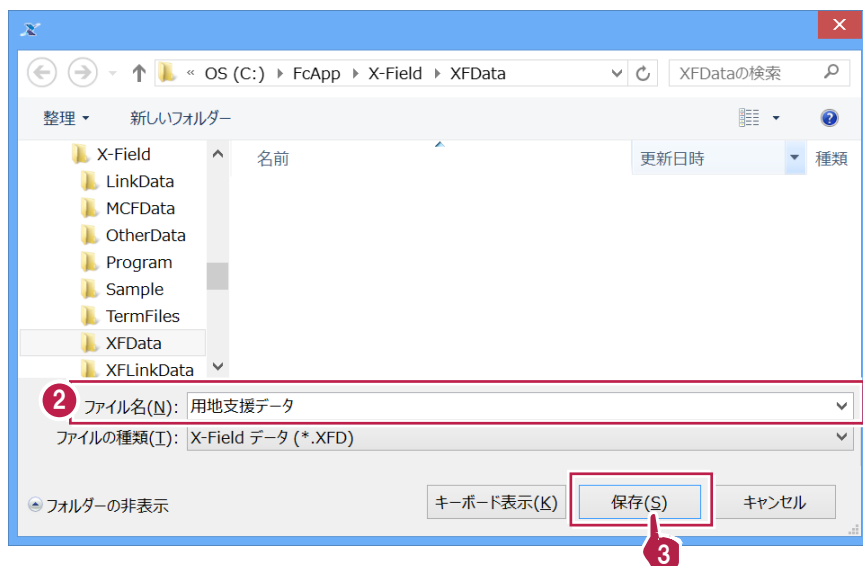
2 作業を完了したら、[終了]をタップします。

メモ [独立杭]とは地番を構成しない杭で任意の位置に設置可能です。隣接する道路の一部など境界以外に測定したい点がある場合は、[独立杭]を使用してください。

3 次の手順を確認して、[終了]をタップします。

1-8 データを保存する

データを保存します。



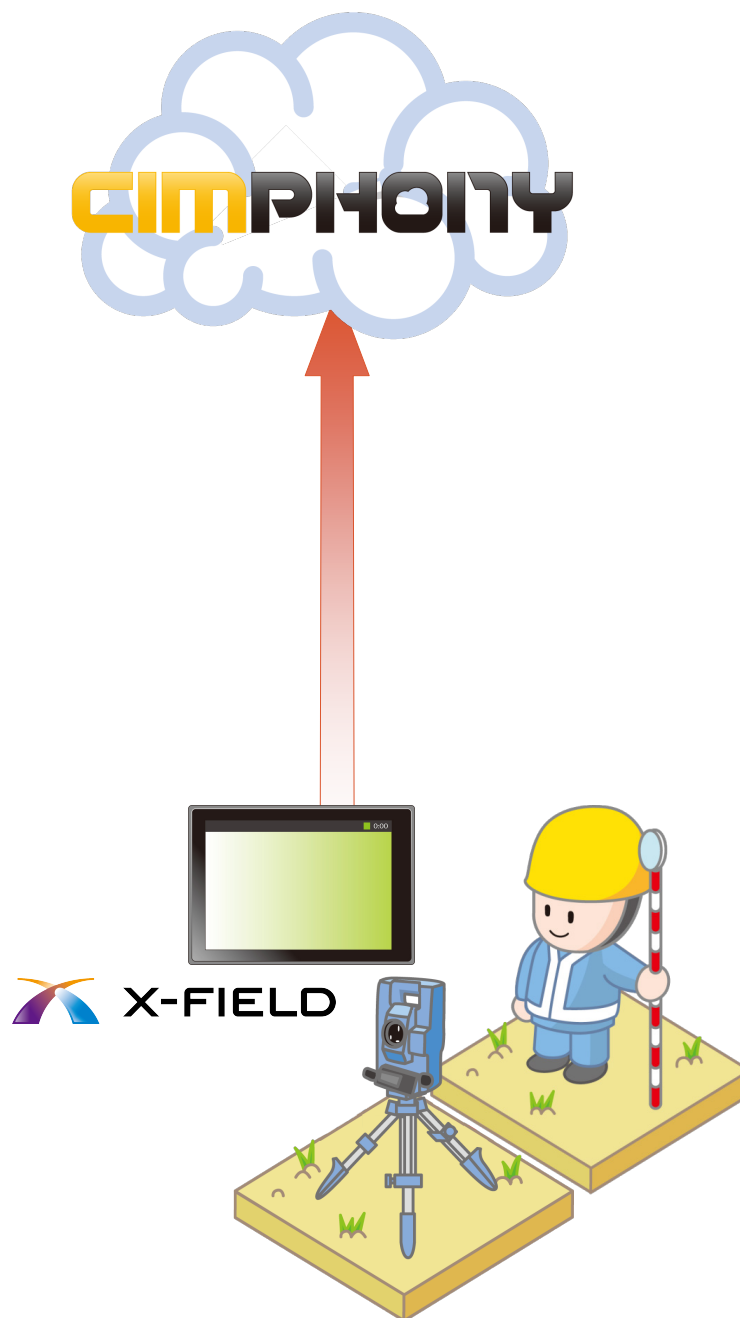
1 [名前を付けて保存]をタップします。

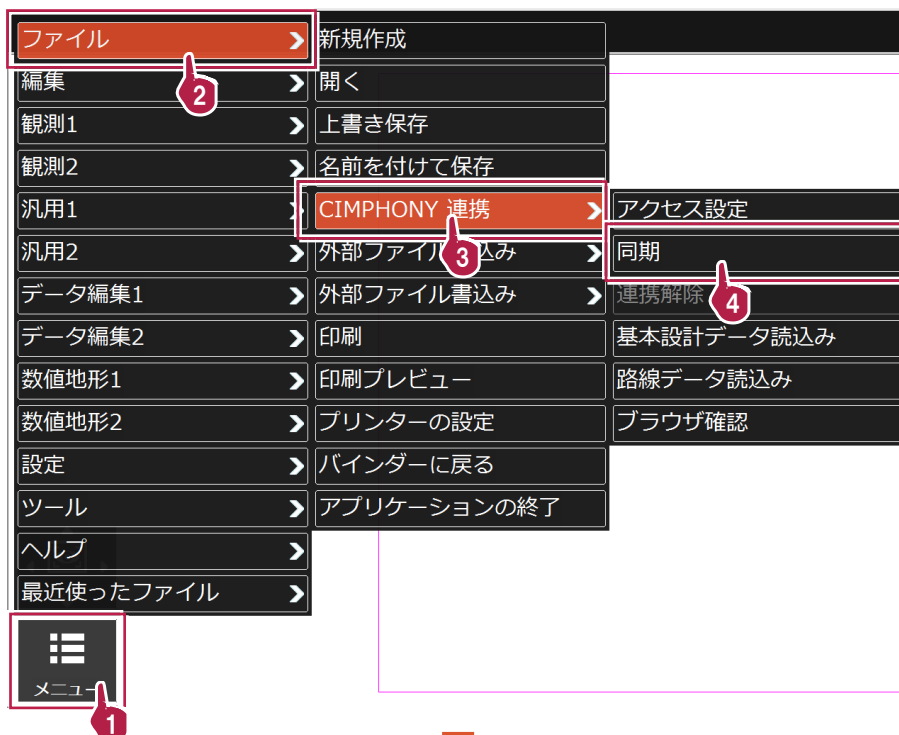
2 ファイル名を入力します。

3 [保存]をタップします。

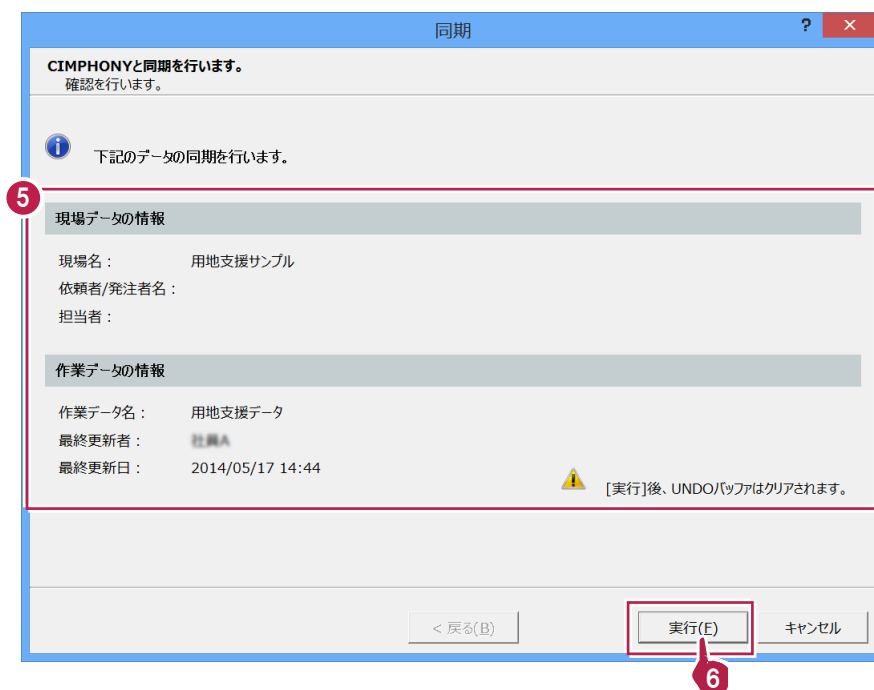
1-9 X-FIELD と CIMPHONY のデータを同期する

X-FIELD と CIMPHONY のデータを同期します。

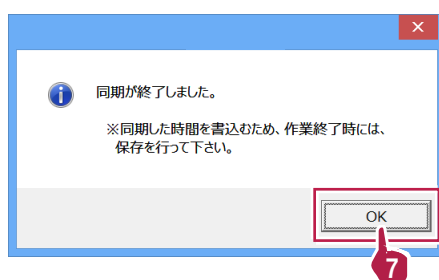




- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [ファイル]をタップします。
- 3 [CIMPAPHONY 連携]をタップします。
- 4 [同期]をタップします。



- 5 同期を行う現場データの情報、作業データの情報を確認します。
- 6 [実行]をタップします。



- 7 [OK]をタップします。